

平成26年度
一般財団法人松本市芸術文化振興財団
事業計画書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

第1 財団運営の基本方針

1 所管業務

平成26年度は、松本市から指定管理者の指定を受けて、美術館施設1館、文化芸術施設3館の管理運営を行います。

事業に当たっては、市民ニーズを踏まえ、文化振興における各施設の役割、位置づけを明確にし、施設の持ち味を生かした事業展開を進めるとともに、施設間の情報交換を密にし、連携事業の推進を図ります。

また、平成27年度に、音楽文化ホールが開館30周年、波田文化センターが開館20周年を迎えることから、記念事業の準備を並行して進めます。

施設区分	施設名	開館時期	指定管理の区分		
美術館	松本市美術館	平成14年4月	期間：H24/4/1～3年間	特命指定 (非公募)	委託料方式
文化芸術施設	松本市音楽文化ホール	昭和60年10月	期間：H24/4/1～5年間		指定管理料方式と利用料金制の併用
	まつもと市民芸術館	平成16年8月	期間：H25/4/1～5年間		
	松本市波田文化センター	平成7年4月	期間：H25/4/1～5年間		

2 財団の組織強化

(1) 公益事業の推進

一般財団法人移行後、法で義務付けられている公益目的支出計画を着実に進めます。

(2) 経営の健全化

公認会計士に支援業務を委託し、会計・税務処理の適正化及び研修による財団職員の経営能力の向上を図ります。

(3) 労働環境の整備

改正労働契約法への対応として、社会保険労務士に支援業務を委託し、有期労働契約で雇用されている財団職員の労働環境を整備します。

(4) 財団改革

「財団改革の基本方針」(平成18年3月策定)並びに松本市の「外郭団体等への市の関与のあり方の基本方針」に基づく経営計画に沿い、財団の機能強化を図ります。

3 職員体制

平成26年4月1日予定

単位：人

区分	部長級職名	人数	課長級職名	人数	係長級職名	人数	職名等	人数	計	
事務局	市職	局長	1	次長 兼会計課長	1	次長補佐 兼会計係長	1	一般事務	1	4
	財団							一般事務	1	1
	計		1		1		1		2	5
美術館	市職			副館長	1	副館長補佐	3			4
	財団							一般事務	1	2
								売店事務	1	
計				1		3		2	6	
音楽 文化 ホール	市職					館長補佐	1	一般事務	1	2
	財団			館長	1	制作ディレクター	1	一般事務	3	8
								企画営業	1	
								企画広報	1	
オルガニスト	1									
計				1		2		7	10	
市民 美術館	市職					次長補佐	1	一般事務	1	2
	財団	芸術監督	1	支配人	1	プロデューサー	1	一般事務	5	21
								企画制作	6	
								舞台技術	7	
計		1		1		2		19	23	
波田文 化セン ター	財団			館長 (美術館支配人兼務)		係長(企画制作兼務)	1	一般事務	1	3
								舞台技術	1	
計						1		2	3	
合計	市職		1		2		6		3	12
	財団		1		2		3		29	35
	計		2		4		9		32	47

第2 各施設の事業計画

1 松本市美術館

活動方針

1 基本目標

- (1) 松本市美術館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」を踏まえた管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

2 平成26年度の重点的な取り組み

基本目標に沿った管理運営を行い、お客さまの満足度の向上を図るため、観覧者や施設利用者など、お客さまの目線に立った接遇に努めるとともに、美術館として快適な環境の提供に努めます。

- (1) 平常管理・サービス業務
お客さまに「来てよかった」、「また利用したい」と思ってもらえるよう、ホスピタリティ（思いやり）の向上に努めるとともに適切な施設・設備の維持保全等を図り、お客さまにとって快適な環境の提供に努めます。

ア 受付・監視業務：受付・券売、常設展示室の監視

イ 貸館業務：市民ギャラリー、多目的ホール等の利用申込受付、利用にあたっての支援等

ウ 管理業務：設備保守点検・清掃、警備業務による快適な環境維持等、施設管理

- (2) ミュージアムショップ運営業務
常設・企画展示室に続く第3の展示室として、「お客様が夢をお持ち帰りいただく空間」となるようショップ運営に取り組みます。

ア 心地よい空間づくり

イ 展覧会に連動した企画・販売

ウ 人気作家や地域をテーマとした企画・販売

エ シーズンに合わせた企画・販売

3 利用促進対策

- (1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケート等利用者の意見を参考に運営の改善を図り、リピート利用の促進に努めます。
- (2) サイトウキネン開催中、芸術館、サイトウ・キネン・フェスティバル実行委員会と協力しながら来館者促進に努めます。
- (3) 既存のホームページ等のツールを活用して積極的な広報に努めます。また、市でリニューアルを予定しているホームページの構築に当たっては、運用を担う指定管理者の立場から、より効果的な広報に結びつくものとなるよう助言、協力してまいります。

《参考》 展覧会等開催予定（市直轄事業）

区分	内 容	会 期	目 標 観覧者数
常設展示	常設展示室A 草間彌生・魂のおきどころ	通 年	18,080人
	常設展示室B・C 館所蔵品を適宜展示公開		
	池上・百竹亭コレクション		
	細川宗英特設展示		
記念展示	田村一男記念展示室		
	上條信山記念展示室		
特別展示	伊万里展	4/12(土)～6/8(日)	14,000人
	(仮称) タグチ・アート コレクション展	7/19(土)～9/28(日)	15,000人
	秋山白巖展	10/11日(土)～11/30(日)	7,000人
	第6回老いるほど若くなる	2/17(火)～3/29(日)	6,000人
計			60,080人

2 松本市音楽文化ホール

活動方針

1 基本目標

(1) 施設管理業務

ア 貸館業務

施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ちよくご利用いただくために、相手の立場に立った親切な対応を心がけます。

また、小ホール改修工事中（12月～3月）は、利用者の安全確保に努めます。

(ア) 年間利用者総数

施設利用者及び鑑賞者等を含めた利用者数については、直近平常年度過去3カ年平均を上回る人数（小ホール改修工事期間中の利用者数減を考慮）を目標に、施設の利用促進に努めます。

(イ) 利用料金収入

小ホール改修による収入減が見込まれますが、メインホール等への振り替えを勧めるなど、収入の確保に努めます。

目 標	年間利用者総数	100,000人
	利用料金収入	18,360千円

イ 施設維持管理業務

施設及び設備について必要な保守を行い、良好な状態を保つように努めます。

(2) 音楽文化活動普及振興業務

ア 自主事業（公演事業等、目標数値は別記）

(ア) 招聘事業

音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供します。

(イ) 自主企画事業

a 経常自主企画事業

子どもたちが出演者として、また観客として気軽に音楽と接することができるコンサートを開催します。

b 特別自主企画事業

県内唯一のコンサート用オルガンによる幅広い層に楽しんでいただけるコンサートの他、多彩なジャンルのコンサートを実施します。

(ウ) 共催事業

市民や音楽団体との共催事業を通じて、市民の音楽文化の向上を図ります。

(エ) セミナー事業

a ホール所有のオルガン、チェンバロの講習会等を開催し、特色ある事業を展開します。

b 優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じて、音楽技術の向上を図ります。

イ 音楽文化活動支援事業

(ア) 音楽団体の活動支援

- a 登録団体制度に基づいて使用料を一部減免し、地域における音楽団体の活動を支援します。
- b 音楽団体等の演奏会情報等を広く周知するため、ホール情報誌「ハーモニー」(ハーモニーメイト編集・発行)に掲載します。

(イ) ハーモニーメイトの育成援助

団体の自主性を尊重し、事業に協力するとともに育成・援助をします。

(ウ) 音楽関係相談業務

各種演奏会開催に係る、出演者、コンサート企画等についての相談業務を行います。

2 平成26年度の重点的な取組み

基本目標に踏まえた管理運営を行うとともに、より多くの皆様にご利用・ご参加していただくために、次の2点に取り組みます。

(1) 専属オルガニストの交代に伴う企画

専属オルガニストの交代に伴い、新しい角度からオルガンのさらなる普及に努め、大人から子どもまで楽しめるコンサートや、市民向けオルガン講習会の充実を図ります。

(2) 多彩なジャンルの企画

クラシック中心ではあるものの、本年度はオルガンとダンスのコラボレーション、邦楽、タンゴなど多彩なジャンルを企画し、新たなファン層の掘り起こしを図ります。

3 利用促進対策

- (1) 施設管理業務に関しては、通常利用の中でご意見をいただくほか、利用者懇談会における音楽愛好団体等の意見を参考に、より利用しやすい施設となるよう常に改善を図り、利用者の増加につなげられるよう努めます。

- (2) 自主事業の企画に当たっては、コンサート時に行っているアンケートを参考とし、多くの皆様に来場いただける魅力ある企画となるよう努めます。

- (3) 多くの来場者・参加者にお越しいただけるよう、各種メディアを通じて積極的に広報活動をするため、次により対応します。

ア ハーモニーメイトとの連携により、情報誌ハーモニーに記事を掲載して、音楽愛好家等への周知を図ります。

イ 地元紙の広告会へ引続き入会し、定期的な広告及び関連記事の掲載等により、広く地域住民等への周知を図ります。

ウ 中央の音楽情報誌への広告掲載により、観光とのタイアップも念頭に置いて、県外ファン獲得のための広報活動を行います。

エ 新たに開局したコミュニティーFM局、エフエムまつもと番組中に積極的に職員が出演しPRするとともに、従来どおりテレビ松本の広報まつもとを活用します。

オ ホール公式ホームページのほか、松本市公式ホームページを通じての広報活動も充実させます。

事業内容

1 公演事業等

区分 番号	事業名称等 演奏会内容	開催時期 参加人員	収入見込 (千円)		
			支出見込 (千円)	事業収入 市委託料	
1 招聘事業		3,800人	25,141	16,900	8,241
1	ゴラン・コンチャル(Vn)&エフゲニ・ザラフィアンツ(Pf)	5月17日(土)			
	名匠2人のプロムナードコンサート	400人	1,391	1,200	191
2	アフアナシエフ ピアノリサイタル	6月28日(土)			
	伝説のピアニストがつむぐシューベルト晩年の世界	500人	3,544	2,500	1,044
3	アルカント・カルテット&オリヴィエ・マロン	10月2日(木)			
	ケラス(Vc)と素晴らしき仲間たち	500人	3,398	2,500	898
4	堀米ゆず子 バッハ=ブラームスプロジェクトII	10月22日(水)			
	クラリネットの巨匠ナイディックと共に	500人	2,478	2,000	478
5	ドレスデン国立歌劇場室内管弦楽団 with 横山幸雄	12月6日(土)			
	これぞ歴史と伝統の格調高き演奏	500人	4,957	3,000	1,957
6	ヴォーチェス・エイト クリスマスコンサート	12月20日(土)			
	卓越した歌唱力、英国のア・カペラ合唱団	500人	3,217	2,000	1,217
7	フランク・ブラレイ ピアノリサイタル	2月1日(日)			
	現代フランスを代表するカリスマ・ピアニスト	400人	1,468	1,200	268
8	“ビオンディ&エウローパ・ガランテ”のヴィヴァルディ	3月4日(水)			
	響き渡る伝説の「四季」と秘曲「スターバトマーテル」	500人	4,688	2,500	2,188

区分 番号	事業名称等 演奏会内容	開催時期 参加人員	収入見込 (千円)	
			支出見込 (千円)	事業収入 市委託料
2	自主企画事業	3,600人	11,516	5,400 6,116
	(1) 経常自主企画事業	900人	2,552	700 1,852
1	(第7回) Xmasファンタジー 2014	12月14日(日)		
	地元演奏家のアンサンブル、中学・高校合唱部、 一般公募合唱団のXマスソング等	500人	2,184	500 1,684
2	ワンコイン・コンサート	9月12日(金) 1月15日(木)		
	専属オルガニストが毎回ゲストを招いてお届けする オルガンコンサート	400人	368	200 168
	(2) 特別自主企画事業	2,700人	8,964	4,700 4,264
1	保田紀子 ありがとうオルガンコンサート	4月12日(土)		
	専属オルガニスト保田紀子の最後のコンサート	500人	660	0 660
2	野坂操壽 箏リサイタル	6月13日(金)		
	箏の第一人者とスペシャルゲストとの夢の共演	500人	2,122	1,500 622
3	原田靖子 ホール・デビュー コンサート	7月13日(日)		
	新専属オルガニスト原田靖子のお披露目コンサート	500人	1,131	0 1,131
4	小松亮太withラスト・タンゴ・センセーションズ	9月20日(土)		
	バンドネオンの若き巨匠 小松亮太	400人	2,167	1,200 967
5	エンリコ・オノフリ、バロック・ヴァイオリンの奥義	11月21日(金)		
	あの名曲の真の姿を探る	400人	1,755	1,200 555
6	原田靖子 2台のオルガンコンサート	2月15日(日)		
	大オルガンとポジティブオルガンによるコンサート	400人	1,129	800 329

区分 番号	事業名称等	開催時期 参加人員	支出見込 (千円)	収入見込 (千円)	
	演奏会内容			事業収入	市委託料
3	共催事業	13,700人	0	0	0
1	第35回 新人演奏会	4月20日(日)			
	音楽関係大学等新春卒業者による演奏会	300人			0
2	日本オルガニスト協会新人演奏会	4月29日(火)			
	全国から新人オルガニストが結集する演奏会	400人			0
3	第28回 島内灯籠まつり	8月3日(日)			
	地元町会恒例の夏祭り	12,000人			0
4	第29回 ニューイヤー松本ボーカルフェスティバル	2月8日(日)			
	地元縁のボーカリスト共演によるコンサート	500人			0
5	メイト主催「堤剛・竹澤恭子・児玉桃 ピアノトリオ」	3月21日(土)			
	チェロの巨匠堤剛と海外で活躍するミュージシャン達	500人			0
4	セミナー事業	710人	1,703	700	1,003
1	第13期 チェンバロ講習会 (全6回)				
	講師=栗形亜樹子 (バイエル修了者対象)	90人	903	180	723
2	オルガン講習会	調整中			
	講師=原田靖子 (一般市民対象)	30人		120	△ 120
3	オルガン体験/朝と夕のハーモニー (1日2回開催)	8月1日(金)			
	主管=松本オルガン同好会 (一般市民対象)	300人			0
4	管楽器&指揮法クリニック	10月5日(日)			
	講師=洗足学園講師陣 (高校生対象)	200人	700		700
5	弦楽合奏講習会	12月初旬			
	講師=古典四重奏団団員 (高校生等対象)	40	100		100
6	オルガンレッスン	☆通年開催			
	講師=原田靖子 (オルガン講習会修了者対象)	50人		400	△ 400
合計	27事業	21,810人	38,360	23,000	15,360

※ 支出見込額においては、計上分以外にラインナップ作成費等共通経費として3,417千円あり

※ セミナー事業中、オルガン講習会及びオルガンレッスンは、ホール専属オルガニストによるもので、謝礼等の支出を伴わない

3 まつもと市民芸術館

活動方針

1 基本目標

- (1) 世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。
- (2) 市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場とします。
- (3) 市民が親しみやすく、新しいまち全体の賑わいと文化の潤いが生れる場とします。
- (4) これらを通じて、市民が交流する場とします。

2 平成26年度の重点的な取組み

- (1) 開館10周年を経過したところで初心に帰り、芸術性の高い作品から娯楽性のある作品までバランスよくラインナップし、より多くの市民に来館していただけるよう努めます。
- (2) 公式ホームページでは常に最新の情報を提供するなど、市内外に向けての情報発信により、公演の鑑賞や幅広い市民の来館を促すとともに、インフォメーションコーナー・ショップの充実や、シアターパーク・トップガーデンの利活用など、館の付加価値を高める活動も充実させます。
- (3) これまで以上に国をはじめ様々な助成制度を積極的に活用するなど、自主事業財源の確保に努めます。

3 利用促進対策

- (1) アンケート調査等に基づいて、要望を把握し公演ラインナップの参考とします。
- (2) インフォメーションコーナーのフリーペーパースペースは来館者に好評を得ていることから、これを充実するなど日常的に気軽に来館を促す取組みを進めます。
- (3) シアターパークでは他館などの公演・催事ポスターを掲示して来館者に様々な情報を提供する環境を整えるとともに、県などとも協力して若手芸術家等が気軽に発表できる場としての利用も検討します。

1 自主事業

(1) 創造・発信型事業

串田監督の演出による、シェイクスピアの「テンペスト」や、TCアルププロジェクトによる「ユビュ王」を上演します。

(2) 鑑賞・招聘型事業

当館の各舞台空間を十分に満たすジャンルをそろえ、現代演劇、古典芸能、ミュージカル、音楽コンサートをバランス良く提供します。人気脚本家宮藤官九郎、新進気鋭の熊林弘高演出作品や、定番となった志の輔落語、また音楽では、坂本龍一、藤原道山から沢田研二、郷ひろみといった幅広いラインナップとして、様々な年齢層の要望に応えます。

(3) 教育普及・育成型事業

ア 開館以来実施してきたキッズワールドを、串田監督の演出によりリニューアルして開催します。

イ 演劇工場（シアターファクトリー）は、加藤直工場長と串田監督監修により引き続き第3期生を募集し、新たな受講生とともに学び、演ずる機会を提供します

ウ 各公演に連動するだけではない市民を対象としたワークショップ、レクチャーを内容、事業数共に充実させ実施します。また、隔年開催の市民オペラは練習の年となります。

エ 広報誌「幕があがる」は、話題、内容、仕上がりについて評価を得ていることから、芸術館のひとつの作品としてさらに充実させていきます。

(4) アウトリーチ事業

TCアルプによるアウトリーチ事業については、市内の保育園等での公演を継続して、より多くの観客動員を目指します。

(5) 観光・地域活性化協働事業

「大道芸フェスティバル」とともに隔年で夏のフェスティバルの一翼をになう「信州・まつもと大歌舞伎」を開催するとともに、サイトウ・キネン・フェスティバルと共同制作する「兵士の物語」を今年も串田監督の演出で実施します。またサイトウ・キネン・フェスティバルのオペラ公演も積極的に支援し、夏の賑わいを創出します。

事業の詳細は次のとおりです。

2 事業概要

事業内容		ジャンル	開催時期	参加人員(人)	支出見込(千円)	収入見込(千円)	
						事業収入	市補助金
(1) 創造・発信型事業				3,290	79,790	46,030	33,760
1	串田和美のテンペスト	演劇	10月	2,000	51,120	30,800	20,320
2	串田監督音楽企画	音楽	1月	450	8,390	4,510	3,880
3	TCアルプロジェクト「ユビュ王」	演劇	2月	840	20,280	10,720	9,560
(2) 鑑賞・招聘型事業				19,120	51,090	37,810	13,280
1	坂本龍一コンサート(共催)	音楽	4月	1,200	0	50	△50
2	ねずみの三銃士「万獣こわい」(共催)	演劇	4月	500	0	50	△50
3	二胡コンサート	音楽	4月	200	980	610	370
4	ディズニーライブ(共催)	音楽	4月	1,500	0	50	△50
5	十朱幸代朗読劇「燃えよ剣」(共催)	演劇	4月	1,200	0	50	△50
6	志の輔落語(共催)	古典	5月	1,200	0	50	△50
7	藤原道山&SINSKE	音楽	5月	240	3,300	880	2,420
8	「羊」	演劇	5月	500	930	0	930
9	東京スカパラダイスオーケストラ(共催)	音楽	5月	1,200	0	50	△50
10	「パノラマ」	演劇	6月	500	9,400	7,000	2,400
11	「6週間のダンスレッスン」	演劇	7月	360	4,490	3,960	530
12	錦秋特別公演(勘九郎、七之助)	古典	9月	2,600	11,200	15,120	△3,920
13	沢田研二コンサート(共催)	音楽	9月	1,200	0	50	△50
14	郷ひろみコンサート(共催)	音楽	10月	1,200	0	50	△50
15	TUKEMEN(共催)	音楽	10月	1,200	0	50	△50
16	フィリップ・ジャンティ(共催)	演劇	11月	300	0	50	△50
17	鈴木雅之コンサート(共催)	音楽	11月	1,200	0	50	△50
18	二兎社「森鷗外」	演劇	11月	240	4,120	1,030	3,090
19	アスーナ	音楽	12月	500	4,810	3,020	1,790
20	オペラ企画(オフィスまゆ)(共催)	オペラ	12月	800	0	50	△50
21	ミュージカル「4月25日」	ミュージカル	12月	800	6,750	3,780	2,970
22	「狂人なおもて往生をとぐ」	演劇	3月	480	5,110	1,810	3,300
(3) 教育普及・育成・市民参加型事業				11,000	37,360	17,830	19,530
1	高校演劇講習会	演劇	6月	240	350	210	140
2	青少年のためのオペラ	オペラ	9月	6,000	6,500	0	6,500
3	高校演劇中信地区大会	演劇	9月	300	0	0	0
4	子どもフェスティバル	その他	11月	2,000	6,280	2,200	4,080
5	まつもと演劇工場	演劇	9月～	460	18,140	14,810	3,330
6	近藤良平ワークショップ	ダンス	数回	120	990	470	520
7	市民オペラ	オペラ	通年	0	5,000	0	5,000

事業内容	ジャンル	開催時期	参加人員(人)	支出見込(千円)	収入見込(千円)	
					事業収入	市補助金
8 社交ダンス	ダンス	1月	500	0	0	0
9 こどもたちの映画祭	その他	3月	1,200	0	50	△50
10 バックステージツアー	その他	3月	180	100	90	10
(4) アウトリーチ事業				2,000	0	0
1 TCアルプアウトリーチ公演	演劇	通年	2,000	0	0	0
(5) 観光・地域活性化協働事業				12,800	53,960	25,960
1 信州・まつもと大歌舞伎	古典	7月	11,200	20,000	0	20,000
2 サイトウ・キネン・フェスティバル松本 兵士の物語	演劇	8月	1,600	33,960	25,960	8,000
学芸事業				-	31,430	26,000
総計 (39事業)				48,210	253,630	153,630

3 貸館事業

目標	利用料金収入	28,000千円
----	--------	----------

- (1) 利用者の興行、催事が成功するよう専門的な立場から支援します。
- (2) 一般利用の開館時間は、午前8時30分から午後10時ですが、利用計画により柔軟に対応し、休館日も利用の少ない日に設定するなど利用者の要望に応えます。
- (3) 松本観光コンベンション協会など関連団体と連携し、学会やイベント事業等の利用も推進します。
- (4) 26年度実施予定の主な大会・集会

No	開催時期	名 称	施 設
1	5月	お花まつり	主ホール
2	8月	才能教育研究会夏季学校	小ホール

4 協働推進事業

ホールボランティアを芸術館のパートナーと位置付け、来館者サービスの向上を図るため、職員とともに育成事業を実施します。

- (1) 接遇等各種研修の実施
- (2) 防災訓練等の共同実施

4 松本市波田文化センター

活動方針

1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用を図れる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切にし、鑑賞の場だけではなく、協働の場として一緒に事業を創っていくことに努めます。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体等の活動の支援や、積極的な育成援助を行います。

2 平成26年度の重点的な取組み

指定管理者制度導入2年目となる平成26年度は、基本目標に沿って以下の項目に重点を置き、多くの市民の皆さんに利用・参加していただけるよう努力します。

(1) 利用促進

自主事業実施の際のアンケート調査により来場者の意向把握に努め、施設の利用促進につなげることにします。

(2) 利用者サービス向上

上記アンケート調査等による利用者の生の声や苦情、要望等を管理運営に反映し、利用者サービスの向上につなげていきます。

事業内容

1 平成26年度自主事業方針

- (1) 自主事業については、アクトホール（定員：260人）で公演可能なプログラムを企画します。
- (2) 松本市の西部地域の拠点として、地域と密着した活動を実施します。
- (3) 地元の保育園・学校等と連絡を密にし、生の感動を体験してもらえる場を提供します。
- (4) 継続している事業に関しても、より参加しやすく楽しんでいただけるように工夫して実施します。

区分 番号	事業名称等	開催 時期	支出 見込 (千円)	収入見込 (千円)	
	内容	参加 人員		事業 収入	市委 託料
(1) 鑑賞型事業		360人	735	391	344
1	波田少年少女合唱団アンサンブルコンサート 出演：波田少年少女合唱団	6月21日（土）※予定			
		180人	202	91	111
2	小さなクリスマスコンサート 出演：渡辺力也 他2名	12月21日（日）※予定			
		180人	533	300	233
(2) 教育普及型事業		180人	630	120	510
1	幼児を対象にした人形劇 出演：人形劇団むすび座（予定）	10月12日（日）※予定			
		180	630	120	510
(3) 市民参加型事業		530	1,815	845	970
1	落語寄席（2公演） 出演：立川談慶	8月上旬予定			
		400人	1,551	832	719
2	第15回ピアノカーニバル 出演：一般公募	9月下旬予定			
		130人	264	13	251
合計	5事業	1,070人	3,180	1,356	1,824